

私にとってこの「中医学」、それは一生涯かけていくものだ”と考える。

元々は対動物にと中医学を学ぶ始めたのだが、中医の深い考えや患者さんとの触れ合いの中に、自然と人対になっ”ていた。

一度、自分の治療に迷い、現場を離れたこともあったが、「自分には鍼灸しかできない」という結論に到り、今では技術の向上や幅をもたせるべく、日々勤しんでいる。

そして、いずれはN G Oに参加し、鍼灸・指鍼を伝導すること、余生は実家が日がな一日、鍼をしたり遊ぶのだと確信している。

そのため、私にとってこの中医学は「一生涯

力付 2 年 11 月 2 日 以 在 の 上 行 考 入 可。